



### 第27号

発行

児童養護施設晴香園  
〒270-0011 千葉県松戸市根木内145  
電話 047(345)2722  
FAX 047(309)8807  
E-mail: info@s-haruka.org



平成28年3月12日、綺麗な青空の良き日に、卒園生の旅立ちを祝う「旅立ちの会」が開かれました。

「旅立ちの会」には、今まで多くのご支援をいただいた理事・評議員・後援会の方々、中学校・高校の先生方、卒園後お世話になる就職先の方々にもご出席頂きました。

今年5人の卒園生を送り出しました。理事の方、後援会長からのお祝いの言葉をいただき、後援会からは卒園、進学資金の援助に加え、ひとり一人の希望の品を記念品としていただきました。また、職員全員からメッセージアルバムに一言を添え、手紙・記念品・花束とともに手渡し、華やかで明るくアットホームな旅立ちの会とすることが出来ました。



卒園生5人で

言葉を詰まらせ、涙ながらに伝えられた職員からの言葉は、いつまでも卒園生の心に残ってくれることと思います。

児童代表からの贈る言葉では、それぞれのキャラクターに合った言葉が送られ、会場への笑いを誘いました。

毎年のことですが、涙をさそう卒園生の旅立ちの言葉には、今までの想い出、感謝、新しい生活に向けての覚悟がこめられています。目に見える贈り物だけではなく、目に見えない贈り物もたくさん受け取り、旅立つ卒園生の笑顔はとても晴れやかでした。

これからは、楽しい事、嬉しい事ばかりではなく、辛い



全員集合! 笑って、笑って

事も多々あると思います。「困ったことがあれば晴香園においで」と声をかけて送り出しますが、このような時には相談に来る余裕すら中々ありません。晴香園では、新しい生活が軌道に乗るまで定期的に連絡を取り、相談に乗りながら見守って行きます。旅立った卒園生には、社会生活を営みながら、困難を乗り越え、強く逞しく生きていって欲しいと職員一同願っています。

これまで影に日向に応援して下さった皆様に感謝申し上げますと共に、今後とも、卒園生たちの歩みを見守っていただきますようお願い致します。

## 卒園生の旅立ちの言葉



ホーム職員全員から一言メッセージ

私が晴香園に来てから7年になります。

その中で小学生・同級生とケンカして長期間距離を  
とった苦い思い出があります。

しかし、小学生の頃に軽井沢旅行、中学生・高校生  
の頃に長野旅行、高校3年生の2月には

広島旅行といった楽しい思い出もたく  
さんあります。

私が晴香園を出たらたくさんの人に信頼されるよう  
人になりたいと思っています。そのために今このことを

振り返り悪い所・良い所を見つけ直していくこと、礼  
儀正しき、会話を増やすなど様々な努力をしていこう  
と考えています。

本当に今まで"ありがとう"を"さ"いました。

僕は幼稚園の時に晴香園に来ました。その時のことは  
あまり覚えていません。小学生になり勉強はあまり好きではな  
かたけれど、色々なことを教えてもらってかっこ良かったです。

中学では、バレーボール部に入り県大会までいくことが出来ました。

また色々なことを

みんなで話し合える一生の友達たちにも巡りあえました。

時には夜遅くまで勉強がまわったり、乗せられて、たくさんの方  
に"心配"をおかけしました。

その中で奇蹟的に高校に合格おこさ出来ました。

赤点は

人よりも、遅刻も欠席も多かったです。朝、何度も起き起これま  
し。今回無事卒業できたのも先生方や職員の方々のおかげ

だと思います。ありがとうございました。これから今までのように

影で支えてくれる大人はいなくなると思います。ですが自分の力で立派な  
社会人になっていきます。初めての一人暮らしや仕事が始まる

ことは不安でもありますが、楽しみでもあります。

最後になりますがここで13年間の思い出を糧にこれから

が頑張っていきたいと思っています。本当にありがとうございました。



メッセージアルバムを贈呈



ホーム職員より手紙

私は、5歳の時、晴香園に入居し、13年間生活してきました。

その13年間の中で、たくさんの人に出会って、様々なところで支えてもらい、成長することができました。

4月から私は、専門学校へ行き、パティシエになる夢を叶えるためにも一生懸命頑張り、美味しいケーキを作れるように技術を身に付けていきたいと思っています。

辛い時があるかもしれませんが、それを乗り越えて、少しずつ成長していきたいと思っています。

最後に後援会の皆様、私たちのために生活費や学費などを支援して下さい、ありがとうございます。

日々がたつのは、本当にあ、という間で、今日、私は卒園の日を向かえています。  
私が晴香園で過ごした3年半は、私にとってほんとにも大切なものでした。  
毎日、「おはよう」や「おかえり」と言ってくれる人がいて、温かくて美味しい  
食事が食べられて、ホームのみんなとTVをみたり、話をしたり…。  
どれもが毎日あたり前のことでしたが、私にとってはほんとにもバやあらく時間でした。  
もちろん、楽しいことだけでなく、辛いこと、悲しいこともたくさんありました。が  
それすらも、今では大切な思い出だと思います。

これから私は一人暮らしをし、4月からは大学生となります。  
一人暮らしも大学生生活も不安でしたがありませんが、晴香園でつちかた  
経験と、思い出がどうにかやっさいこうと思います。

晴香園で生活することができて、本当に良かったです。

私はこれから、友人をはじめ様々な人に支えられながら頑張る、  
いこうと思うので、みなさんも頑張ってください。  
本当にありがとうございました。



晴香園職員から花束贈呈



後援会より記念品贈呈



晴香園より記念品贈呈

私が晴香園に来たのは小学五年の7月でした。長いようで短い時間の中  
沢山の思い出ができました。

私は晴香園にいる間色々な人に色々な事で迷惑ばかりかけてきました。  
高校生になって赤点を取らぬように一生懸命勉強しました。その結果  
学業成績が上がりやれば出来たんだと思います。勉強が嫌になって  
逃げたけど、無事に高校卒業ができて良かったです。本当にありがとうございました。  
4月からは社会人になります。新しい世界で不安だらけだけど  
頑張っていきたいです。

そして私と違う大人になり今までの沢山の思い出を思い出したいと思います。

# アイリスホームの紹介

晴香園には六つのホームがあり、今回はアイリスの紹介をさせていただきます。

アイリスでは本を読む習慣をつけ、また助け合いの大切さを学ぶため、読書とボランティアに力を入れています。

読書は活発に行なわれており、日常生活にも溶け込んでいます。本棚が三つもあるホームはアイリスだけ。蔵書数も園内で最大です。

本棚には職員手作りのポップつきの推薦図書が飾られています。読書は苦手…という子もいますので、ポイント制を導入し、読書に親しむきっかけを作りました。ポイントが貯まったら、ちよつと豪華なおやつをみんなでごべます。

先日、『第一回アイリスポップコンテスト』を開催し、優劣を競いました。みんなとても熱心に取り組み、出来上がったポップは本と一緒に晴香園の食堂に飾られています。

す。読書を通して読解力など様々な力を得ることはもちろんですが、豊かな心を育む子が増えてほしいと願っています。



ポイント



ポップコンテスト

ボランティアは、主に二つの取り組みをしています。

一つは使用済み切手をJVC（日本国際ボランティアセンター）に寄付するというものです。寄付をした切手の売り上げが途上国支援に役立ちます。子ども達と職員で、少しずつ切り進め、昨年、JVCの方が来園された際、お渡しすることが出来ました。まだ切手もたくさんあるため、現在も進行中です。

もう一つは、使用済みランドセルをアフガニスタンの子どもに寄付をするというものです。子ども達主体でポスターを描き、協力と寄付を呼び

## ～アイリスの日常の朝の様子～

- 6:15 職員が出勤、朝食を作りはじめます。
- 6:30 「おはよう」と声掛け
- 7:00 朝ごはん
- 7:30 小学生が登校。明るく「行ってらっしゃい。」と送りだし、その後、幼児と食事、後片付けをします。
- 8:00 この時間までに何かあれば、学校を含め関係者に連絡を入れます。

最近では、各自が決められた時間の中で準備をし、登校できるようになってきました。子ども達が気持ち良く朝の時間を過ごせ、登校につながる様、努力していきたいと考えています。そのためには、当日の朝ばかりではなく、前日や前々日の出来事も影響するため、他の職員との連携も大切で、情報共有をできる限り図っています。



本棚



アフガニスタンへの寄付

かけ、今はランドセルと一緒に送る文房具について、何が買えるか話し合っています。ボランティアを通じて、助け合って生きていくことの大切さや誰かの役に立てる喜びを知り、また国内外の様々な問題について、考えるきっかけにしていきたくと思っています。

## 「近藤基金」を設立 より多くの社会体験のために！

近藤様より、子供達により多くの社会体験をさせたいとお申し出をいただき、多額のご寄付をいただきました。運営するため、本年1月13日に近藤基金を設立させていただきました。



近藤基金設立

## ボランティアのご協力 ありがとうございました

- 学習ボランティア
  - 柴田 和子 田中 里奈
  - 高橋 千尋 湯本 佳子
  - 小林 由美子 青柳 陽子
  - 猿渡 英明 荒川 由里恵
  - 井手 慶子 杉浦 かおり
  - 林 洋子 Noel Curry
- 遊びボランティア
  - 松田 瑞樹
- 家事手伝いボランティア
  - 和田 純子
- 図書室ボランティア
  - 口地 美恵子 深山 喜子
- ピアノレッスンボランティア
  - 石井 美和
- 習字ボランティア
  - 山本 健治
- 散髪ボランティア
  - ハーフムーン
- 花ボランティア
  - NPO法人 Imagine
  - 副理事長 山下 緋沙子
  - 松戸 更生保護女性会
- 誕生日ケーキプレゼント
  - オペラ座

# 新規会員ご入会 継続会員費 納入ありがとうございます

新規会員ご入会 及び 継続会員  
会費納入ありがとうございます。

お名前前に誤字、脱字、記載漏れ  
がありましたらお詫び申し上げます。  
また、その旨のご連絡を頂き  
たくお願い申し上げます。(今号  
では、平成27年11月1日から平成  
28年3月31日までに、ご入会の方  
及び会費を納入いただいた方を掲  
載させていただきました。ご入金  
いただいた日時により、多少の前  
後が生じております。)

(敬称略・順不同)

### 【新規会員】

- 丸井眞理子 石山智
  - 帆船剛 鳥井大祐
  - クロダシズエ フジノタカヒロ
  - 佐々木森雄 今野法生
  - 梅澤一雄 寺坂史夫
  - 三石善吉 菅原久
  - 藤岡壽子 近藤義明
  - 若松雅子 佐藤徹夫
- 【継続会員】
- (株)仲幸 (株)トーエイ
  - 山川美知子 室橋博史
  - (有)ときわだいら動物病院
  - 縫部鐵次郎 安川満
  - (株)四国放送サービス
  - 山中啓之 藤田純子

- 杉浦花店 須田政治
- 稲田幾子 伊師嗣迪
- 藤川藤穂 ライフリード(株)
- 小堀政子 三輪洋介
- 沖英雄 森下智恵子
- 齋藤祐子 小堺重保
- (株)押尾保険事務所
- (有)白髭保険事務所 福田眞
- 本郷谷真澄 福田眞
- 柿沼範明 小沼英介
- 猿渡英明 狼柴子
- (株)アイデス
- (有)春日ライフケア
- (株)六歌撰
- 岩崎文雄 岩崎糸子
- 三谷憲一 渡部愛子
- 柴田悦治 藤永健二
- (株)ユーライフ 竹中加津枝
- 段下裕貴 石橋千賀子
- 松戸友の会 林達哉
- 土屋供生 高田明子
- みどりのキャベツ(有) 川口良子
- 信田典彦 小川早苗
- (有)リカーマート朝日屋 穴戸一陽
- 小熊祐子 竹下敦子
- 今井朋子 池田美樹
- 石川貴朗 渡部直美
- 渡部尚英

- (株)ヘルスファミリィ 加納眞利子
- 木元淳平 大岩一彦
- 辻本美代子 小嶋祐司
- (株)ライズ 白鳥幸志
- 櫻井慎一郎 森勇樹
- 長谷川義晃 森勇樹
- ニユーダイアモンドファミリィ(株)
- (株)羽後交通興業 浅井利明
- (株)アテナ 野呂佐知子
- 墳崎敏之 (有)シヨセ
- 海老敬子 高安京子
- 梅本真行 古賀穰
- 藤竹晶子 中島美江
- 大久保幸子 林倉正廣
- 林倉正廣 (株)ファインスペックコンサルティング
- (株)山野辺建設

### 「晴香まなび基金」へのご寄付 ありがとうございます

- 本庄亮一 佐々木瑞恵
- 松井秀文 藤田純子
- 柴田和子 廣山道子
- 副島隆信 帆船剛
- かちどき皮膚科クリニク
- イトウセンコ 佐々木森雄
- 若田部君子

### 心温まるご厚志 ありがとうございます

- 松戸遊技業防犯組合
- ルート産業
- セカンド・ハーベスト・ジャパン

- マルハン松飛台店
- (株)出版文化社
- 全国シヤンメリー協同組合
- オペラ座 (株)チュチュアンナ
- カサヤ防災システム
- (株)日本共同システム 佐々木都夫
- 日本出版販売労働組合 土本知英
- 松戸市 障害福祉課
- 山崎製パン松戸工場 従業員組合 松戸支部
- 毎日新聞東京社会事業団
- (株)ピーポケット 代表取締役 界久保眞
- メルセデス・ベンツ葛飾 (株)シユテルン葛飾
- 千葉西総合病院
- 聖光ヶ丘病院
- ほっともつと事業本部 F C本部
- F C第三営業部 片野直継
- 日本鏡餅組合 理事長 樋口元剛
- 根木内中学校教員の皆様
- 日本教文社
- アパマンシヨップネットワーク
- パン工房 アトリエメール 小林須美子
- 虎屋産業株式会社
- (公社)日本雷読びん詰レット食器協会 業務部 藤崎
- プレム・ラワット日本事務局
- 合同会社 文屋
- オモト食品 中村康子
- 東絵里奈 日向恵子

- 白鳥幸志 山岡健一
  - 久嶋扶美代 山口文代
  - 我妻広幸 和田純子
  - 酒井嘉昭・恭子
  - 渡邊富美子 大川原美樹
  - 猿渡英明 中山誠一
  - 藤竹晶子 松井秀文
  - 山内ゆり子 清宮尚代
  - 宮下香織 三石治子
  - 厨英彰・恵理子・霜田啓子
  - 豊島敬子 坂下美知代
  - 安藤 金子
  - ヒガシヒデタカ 堀江信光
  - (公社)柏青年会議所
  - 市川市社会福祉協議会
  - 岩崎電気管理事務所
  - やまと学院 松戸ゆいねっと
  - 松戸市社会福祉協議会
  - 帆船剛 上屋潤
  - 流山市社会福祉協議会
  - 石田勝士 ワタナベマサト
  - 鳥井大祐 新井裕之
  - 山口康介 (有)エヌ・ハウジング
  - 嘉数義克 青山寿恵
  - (福)千葉県共同募金会
  - シイナケンセツコウギョウ
  - (株)丸昭建材 日暮喜美子
  - ながはま動物病院
  - (有)ダスカジャパンクアテモック
- 他 匿名 8名

# 晴香園の新たな取り組み

**晴** 香園では子どもたちが6〜7人ごとに、6つのホームにわかれて生活をしていきます。このホームごとに職員が数名で対応していますが、すべての子どもに十分な時間がさけるわけではありません。

子どもを連れての外出があれば、その間を他のホームの職員が補完するなどの勤務体系も生じます。

このために職員間の十分な意思疎通や個々の子どもに対する統一された対応は必須ですが、なかなか難しい課題でもあります。

これを補完するため、本年度にITを新たに追加導入し、これらの改善に取り組もうとしています。

晴香園内のみで利用のできる無線LAN環境を整え、クラウドでグループウェアを使用し、スケジュール管理と同時に施設設備とリンクが取れるシステムの導入、内部のみで閉じられたメールの利用などの検討を進めています。

限られた予算の課題もあり、相反する条件を満たさなければなりません。一部の方のご支援もいただき、できるだけ早く稼働させ、子どもたちに少しでも充実した時間が与えられるよう取り組んでいきます。子どもたちに対する直接の投資ではありませんが、職員の生産性の向上が子どもたち個々の充実した生活に結びつくよう、努めていきますので、ご支援と合せよろしくお願ひ致します。

## ご寄付のお願い

社会福祉法人晴香は、家族で暮らせない子どもたちの自立支援と様々な育児サポートを行っています。

社会環境の変化や個人の価値観の多様化に伴い、子どもや家族を取り巻く状況は深刻さを増してきています。そのような中、子どもたちが希望を持ち続けられるように、また将来を見据え、自立できるよ

う、支援することを目指しています。いただきましたご寄付については、子どもたちの進学する際の学費支援、塾や習い事等に参加するための活動支援、子どもたちの生活を豊かにするための生活支援、また一部の施設整備費等に使用させていただいています。

皆様の温かいご支援をよろしくお願ひします。

ご寄付については、下記の目的別に3つの口座を設定させていただいています。

(別の口座への振り替えは致しかねますので、よろしくお願ひします。)

晴香園…………… 子どもたちに必要な資金の一部に使用させていただきます。

まなび基金…………… 進学者への進学費用に限定した基金です。

後援会(法人/個人) …………… 後援会の主旨にご賛同いただいた方に、ご支援をいただいています。

## お振込先

### 晴香園へのご寄付について

千葉銀行 小金原支店(042)  
口座番号 普通 3377520  
口座名 (福)晴香 フク)ハルカ

### まなび基金へのご寄付について

千葉銀行 小金原支店(042)  
口座番号 普通 3580945  
口座名 晴香園後援会 晴香まなび基金

### 後援会へのご寄付について

※法人会員 年会費5,000円以上  
個人会員 年会費2,000円以上でお願いしています。

みずほ銀行 新宿西口支店  
口座番号 普通 4645936  
口座名 社会福祉法人 晴香 晴香園後援会  
もしくは

ゆうちょ銀行 口座記号と口座番号 00120-4-356622  
加入者名 晴香園後援会

※寄付金に関する詳細は、下記にお問い合わせください。

〒270-0011  
千葉県松戸市根木内145  
社会福祉法人 晴香  
TEL.047-345-2722  
FAX.047-309-8807  
E-Mail:info@s-haruka.org

## 編集後記

日差しが暖かいある日、2歳の子が「おにいちやま」と言ってそばにきました。

それを聞いていた同じ年頃の子が、うまく話せないこともあり、「おに おに……………」、「鬼じゃないから……………」こんなやりとりも晴香園にはあります。

今回は季節的にも卒園生を中心とした内容が中心となりましたが、記事の中にはできるだけ日常のできごと盛り込ませていただきたいと考えています。

どこの家庭にでもある泣き笑いや子ども同士の些細な喧嘩、不貞腐れもあれば笑顔もあり、晴香園の日常を身近なこととして受け止めてもらえるようにしていきたいと考えていますので、よろしくお願ひします。

末尾になりましたが、新年度を迎え、本年度も皆様の変わらぬご支援を、よろしくお願ひ致します。

広報担当 神部・門馬・大塚

